PANDUIT™

取扱説明書

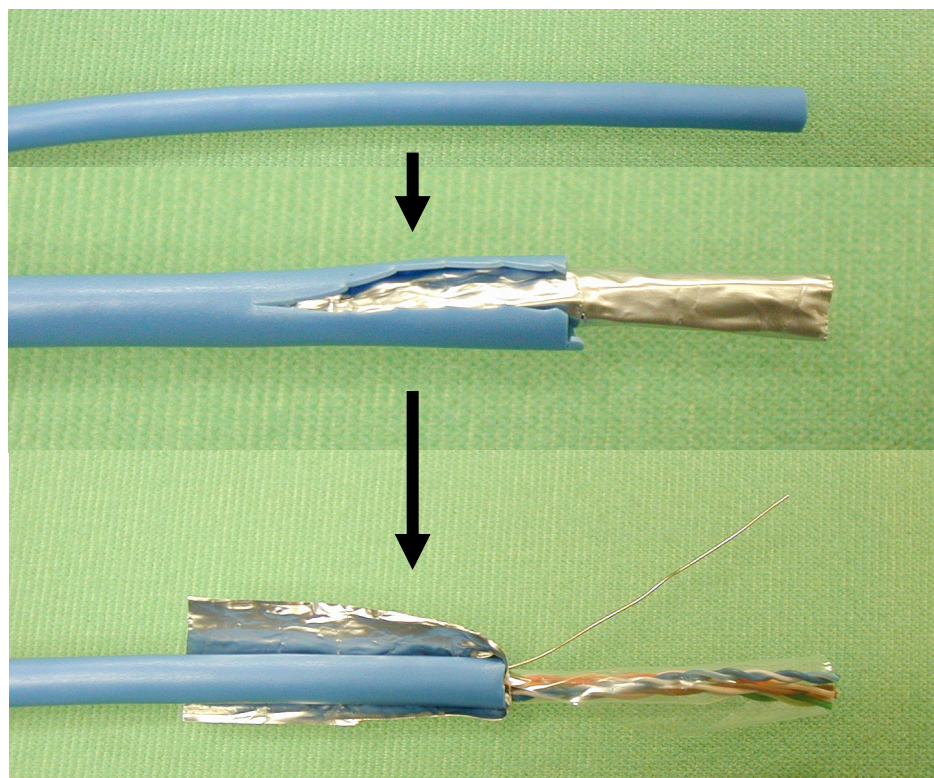
06007A

PAN-PLUG　ｼｰﾙﾄﾞ付ﾓｼﾞｭﾗｰﾌﾟﾗｸﾞ

Part Numbers: MPS588

取扱説明

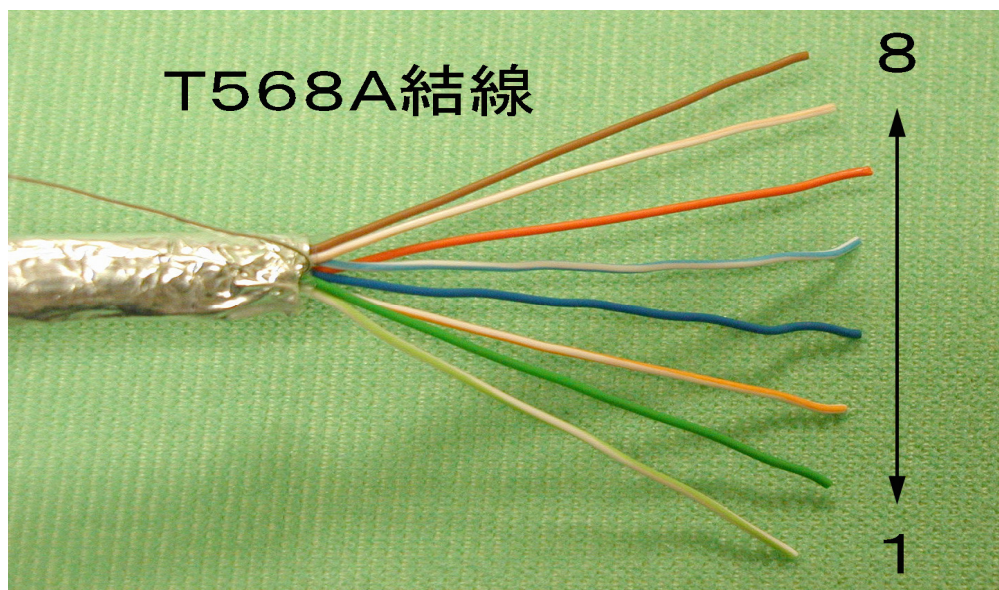
■成端仕様：
- 外被覆の外径は 4.826～5.461Φ㎜ 以下
- 導線径は 0.4～0.51Φ㎜（26～24AWG）
- 導線絶縁径は 0.889～1.016Φ㎜
- コンタクトは単線または導体より心線の成端が可能
- Ｔ５６８Ａ及びＴ５６８Ｂ結線の成端が可能
- ＭＰＴ５－８工具を使用して一括圧接

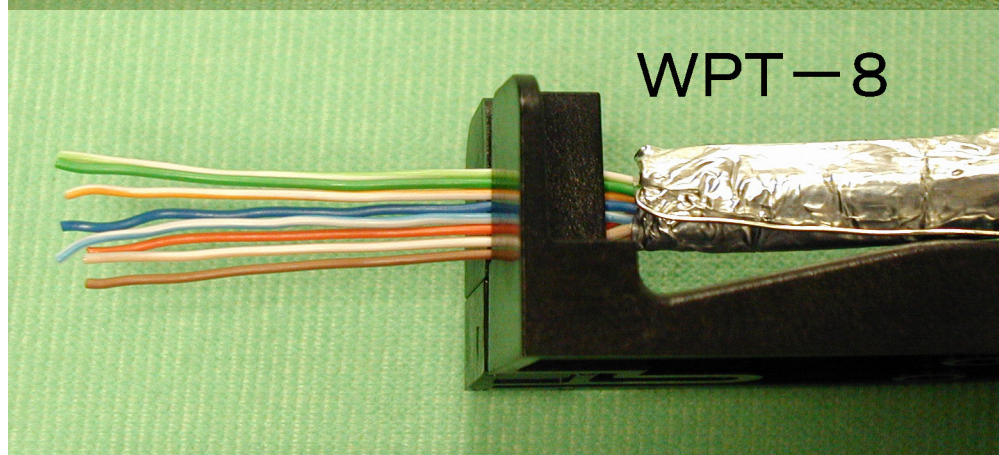
成端手順

外被覆を５０mmほどむきますが､遮蔽用ホイルを傷付け無いようにします。
遮蔽用ホイルとドレイン線を折り返します。

注:この成端の例では遮蔽用ホイルを折り返してドイレン線と一緒にプラグハウジングに挿入いたしますが､外被覆の径が大きい場合にはホイルを切り取って成端することもできます。

モジュラプラグ成端の色コード識別表								
コンタクト番号	1	2	3	4	5	6	7	8
Ｔ５６８Ａ	白緑	緑	白橙	青	白青	橙	白茶	茶
Ｔ５６８Ｂ	白橙	橙	白緑	青	色青	緑	白茶	茶

技術のお問い合わせ◆パンドウイットネットワーク製品グループ　TEL03-3767-7013

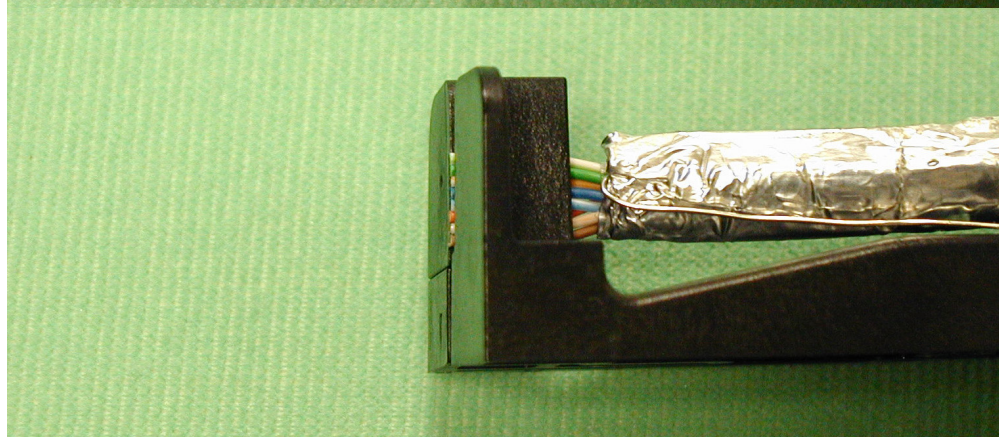
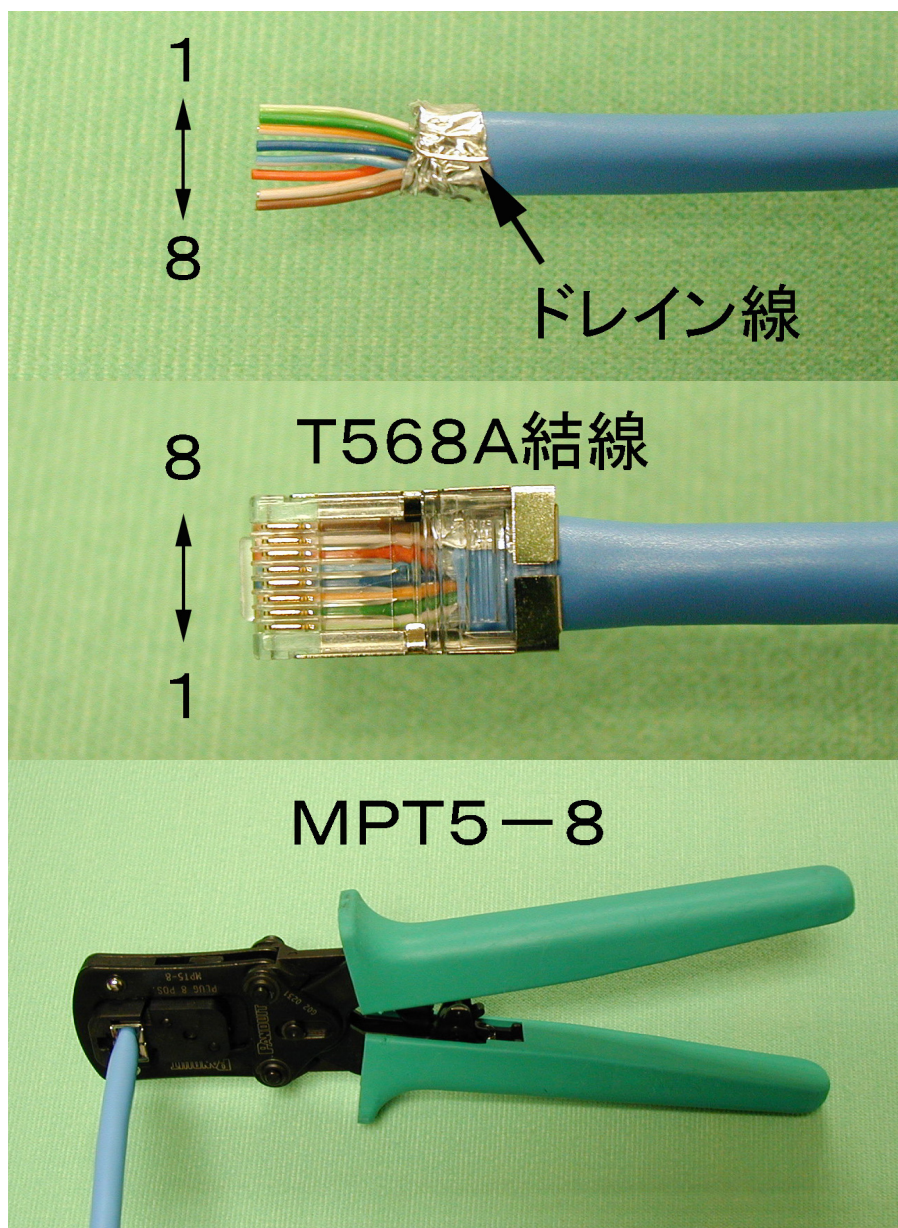
版	制 定	作 成	承 認
01	2006 年 8 月 30 日	山之内	新 田

各対のよりを戻し真直ぐに伸ばします。
結線仕様に従って順番を整えます。

注：外被覆の内側までよりが戻り過ぎないようにします。

挿入位置決め治具（WPT－8）に導線を挿入して、余分な導線を切取ります。

版	制 定	作 成	承 認
01	2006 年 8 月 30 日	山之内	新 田

取扱説明書

06007A

PAN-PLUG シールド付モジュラープラグ
Part Numbers: MPS588

図のような位置にドレイン線を導き、遮蔽用ホイル及びドレイン線を外被覆端から６～９mmほど残して切取ります。

撚り対線と遮蔽用ホイル及びドレイン線をハウジングに確り奥まで挿入します。

撚り対線の結線仕様を確認し一括圧接工具（ＭＰＴ５－８）で圧接します。

注意事項:

1. プラグ成端は24～26AWGで単線及び導体より心線を使用できます。
   導体絶縁体は一般PVCまたはプレナムグレードで外径は1mm以下。
2. 指定サイズより大きい導体をハウジングに挿入しないでください。

全てのワイヤリングアクセサリと同様に、下記の概念に従ってください。

1. 雷や嵐の中では通信ケーブルの施工は行わない。
2. 特に水場で使用できるように設計されたコネクタを除き、濡れた場所での通信ケーブルの施工は行わない。
3. 通信ラインがネットワークインターフェースから切り離されている時以外は、導線や端子を手で触れない。
4. 通信ケーブルの施工や修理の際には警告文を良く読み、行ってください。

技術のお問い合わせ◆
パンドウイット ネットワーク製品グループ

http://www.panduit.co.jp/

E-mail:jpn-info-d@panduit.com
FAX:03-5762-7736
TEL:03-3767-7013

版	制 定	作 成	承 認
01	2006年8月30日	山之内	新 田

改版履歴

版数	改版日	変更内容	担当
01	2006.08.30	初版制定	山之内